

第7回 流線関数, 粘性応力, Navier-Stokes 方程式

6月9日

本日の内容

2-8. 2次元非圧縮流れにおける流線関数

Part 3 粘性流体の基礎と簡単な流れ

ここでは内部摩擦のある流れの基礎方程式を導き、簡単な流れの解き方の例をいくつか示す

3-1. 粘性応力

$$\sigma'_{ij} = \mu \left(\frac{\partial v_i}{\partial x_j} + \frac{\partial v_j}{\partial x_i} - \frac{2}{3} \delta_{ij} \operatorname{div} \mathbf{v} \right) + \zeta \delta_{ij} \operatorname{div} \mathbf{v}$$

3-2. Navier-Stokes 方程式

$$\rho \frac{Dv_i}{Dt} = -\frac{\partial p}{\partial x_i} + \sum_j \frac{\partial}{\partial x_j} \left[\mu \left(\frac{\partial v_i}{\partial x_j} + \frac{\partial v_j}{\partial x_i} - \frac{2}{3} \delta_{ij} \operatorname{div} \mathbf{v} \right) + \zeta \delta_{ij} \operatorname{div} \mathbf{v} \right] + \rho g_i$$

3-3. 非圧縮性流体の Navier-Stokes 方程式

$$\begin{aligned} \operatorname{div} \mathbf{v} &= 0 \\ \frac{D\mathbf{v}}{Dt} &= -\operatorname{grad} \left(\frac{p}{\rho} \right) + \nu \Delta \mathbf{v} + \mathbf{g} \end{aligned}$$

本日のレポート問題

締切: 6月13日(金) 午後1時

[問題 2.1] 流線、理想流体

次の2次元非圧縮流(密度は ρ_0 で一定とする)について以下の問いに答えよ。

$$v_x = -Ax \tag{1}$$

$$v_y = Ay \tag{2}$$

ただし、 A は正の定数である。

(i) この流れが非発散 $\operatorname{div} \mathbf{v} = 0$ であることを確かめよ。

(ii) この流れの歪み速度テンソルと回転テンソルとを計算せよ。

(iii) この流れの流線関数を求め、その等値線(すなわち流線)の概形を描け。流線関数の値が異なる複数の流線を描くこと。そして、流線上で流れの方向も矢印で示しておくこと。

(iv) この流れの加速度 $D\mathbf{v}/Dt$ を計算せよ。

(v) この流れが運動方程式を満たすように圧力分布を求めよ。ただし、応力は圧力のみとし(理想流体)、重力はないものとせよ。